

2026年度 J-POWERグループ環境行動指針 (1/2)

項目	取組み細目
CO2フリー電源の開発加速化	既設水力、地熱、風力、バイオマス、太陽光発電における安定運転の維持 既設水力発電所の設備更新による効率向上・NEXUS佐久間プロジェクトの推進 水力、地熱、風力、太陽光発電（蓄電設備を含む）等の新規開発の推進 原子力規制委員会による新規制基準適合性審査への適切な対応 自主的・継続的な安全性向上の取組み推進、地域から信頼される原子力発電所の建設
温室効果ガス (GHG) 排出量削減	高効率IGCC発電技術開発を目的とした大崎クールジェンプロジェクトの推進 CO2回収・利用・貯留 (CCUS) 技術開発、事業化への取組みの推進 既設火力発電所における高効率運転の維持 既設火力発電所等におけるバイオマス導入拡大、アンモニア混焼実用化の検討 既設火力発電所設備改良・GENESIS計画の推進 カーボンクレジット・排出量取引の活用に向けた取組みの推進 GHG集計システムによる排出源ごとの精確な温室効果ガス算定・報告 SF6、HFCs、N2OなどのCO2以外の温室効果ガス排出の抑制
省エネルギー及び非化石エネルギーへの転換等の推進	事業所における燃料、電気の使用量節減によるエネルギー使用合理化 事業所における非化石エネルギーへの転換 荷主を含む運輸部門における省エネ、非化石エネルギーへの転換

気候変動問題への取組み

項目	取組み細目
循環型社会形成の推進	廃棄物の3Rの推進および適正な処理 廃プラスチックの分別や排出量・再資源化等の把握徹底と3Rの推進 リユース・リサイクル製品等の利用拡大
生物多様性の保全・回復	環境影響評価の適切な実施や地域の特性を踏まえた環境保全措置などによる地域レベルでの生物多様性の保全・回復 希少動植物及び生息、生育地の保全・回復 教育や保全活動を通じた生物多様性の保全・回復に向けた意識の向上
森林の保全	社有林の保全 森林内の未利用残材の利用の推進
水環境の保全	水資源の適切な利用と水質保全 河川における堆砂対策や濁水長期化軽減対策などの推進 環境保全協定等に基づく排水の適正な管理 機器等からの油の漏洩防止対策の強化
大気汚染物質の排出抑制	NOx、SOx、ばいじん等の排出抑制のための燃焼管理及び環境対策設備の適切な管理
騒音・振動・悪臭の発生抑制	騒音・振動・悪臭を発生する機器の適切な管理
化学物質の適正管理	化学物質の排出量・移動量の把握・管理・公表の確実な実施 PCB廃棄物及びPCB使用製品の社内方針に基づいた適切な管理及び処理 アスベストの適切な管理と計画的な除去
事業活動への環境配慮	事業計画における環境影響評価と事業運営における環境保全配慮

地域環境問題への取組み

2026年度 J-POWERグループ環境行動指針 (2/2)

	項目	取組み細目
透明性・信頼性への取組み	環境マネジメントレベルの向上	EMSの継続的改善と最適化の実施 環境課題を理解するための教育の実施 取引業者に対する環境配慮の協力要請 環境トラブルの未然防止及び発生時の連絡徹底と適切な対応
	環境法令・協定などの遵守徹底	法令・協定等の確実な特定、周知、運用 環境法令教育等の実施と積極的な参加 廃棄物処理に関するガイドライン等の活用と電子マニフェストの運用拡大
	環境コミュニケーション活動の推進	社外ガイドラインや社会的な要請に配慮した環境報告の実施 (TCFD開示、TNFD開示、SSBJ基準への対応等) 重要な環境データに対する第三者審査の受審と当該審査に向けた適切なデータ管理 ESG格付け・アンケートへの適切な対応と外部評価の経営へのフィードバック 様々なステークホルダーとのコミュニケーション活動と適切な応対 広報または地域の環境保全活動などによる社会貢献